
逃走コマンド

阿田怜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走コマンド

【Nコード】

N2521Z

【作者名】

阿田怜

【あらすじ】

希望がなければ、絶望もないのです。

おはようございます、こんにちは、こんばんは。

僕の名前は_____です。好きな名前を入れてください。

どうですか緊張しますか、わくわくしますか。僕はと言うとそうでもないです。最初の頃の記憶なんてとっくの昔に削除しましたが、きつとこの世界に希望を持っていたはずなのです。誰だつて同じなのです。

当然希望があれば絶望もあるわけなので、僕は深く深く傷ついたわけです。けれどこんな序盤で詰む僕ではありません。もちろんです、僕は頑張りました。けれど結果も虚しく最初の夢を実現するには、自分の背よりもずっとずっと高い壁を越えなければなりません。それは高いだけだはなく幅もあつてとても分厚いのです。いくら土の壁であつてもこの僕には到底突き進むことは出来ませんでした。

フツと横を見ると、細い細いものでありますが抜け道があつたのです。この時僕にはまた希望の光が見えたのです。手を伸ばして必死でその光を逃さまいと追いかけます。

見事僕はやつてみせたのです。小さい夢ながらも僕はそこから抜けだしました。体は傷だらけで服はボロボロ。けれど僕は大丈夫です。小さな光は心に癒しを与えてくれたのですから。

笑顔をこぼしながら幸せを感じるのもつかの間、僕に悲劇が襲ってきました。僕が手にした光を奪おうと企む男が現れたのです。男は僕よりもずっと大きい大人です。勝てるわけもなく、僕はその光を抱いて走りだしました。逃げれるとは思っていません、けれど何か行動を起こさないとこの光りは消えてしまうのです。

大人と子ども。勝つのはどっちなんでそんな事は問いません。

僕は両手から消えていった光を取り返すこともなく、その場でう

ずくまっで泣きました。ここでこうやって泣いていれば、同情した誰かがあの男から代わりに取り戻してきてくれるかもしれない。僕は泣き続けましたが、すれ違う人々は僕を見ようともしません。

世の中思い通りにはなかなか上手くいかないってことです。

すっかり夢も希望もなくした僕は、無慈悲な神様を呪いました。たとえそれが幻想であつたとしてもこのやるせない気持ちを誰かにぶつけたかったのです。

時は傷を癒します。目に見える傷も見えない傷も。僕はまた笑えるようになりました。

人は他人に無関心で酷く冷たい。その言葉を僕は忘れられませんでした。信じる事が出来なくなつて、この口からは嘘しか言えなくなりました。

そうして気がつく僕は独りぼっちになつていたのです。当たり前前のことですね。

僕はまた蹲つて泣きました。声を殺して泣いたのです。今度は部屋の隅つこで。誰の邪魔にもなりませんし、本当に誰の目にもうつりませんでした。そうして時が過ぎて行くうちにみんな僕の事を忘れてしまいました。

僕はやつと立ちあがり、生きやすくなつた道をまたゆっくり俯きながら歩き始めました。ですが僕はもう笑えません。無理に笑つても心が引きつり虚しさばかりが胸を漂います。

地位も名誉もない僕は完全に孤独です。ですが世の中もそこまで無慈悲ではありません。僕のような人が集まる逃げ場があるので。僕はそこへすかさず掛け込みました。

中は驚くほど静かでみんな疲れていました。僕も疲れていました。その中で休ませてもらうことにしました。

中の人はとても僕に優しくしてくれました。とても嬉しかったのですが僕はどうすればいいのかわかりませんでした。僕は得意の「聞かない振り」をして背中を向けて蹲りました。自然と僕に話しかけてくる人はだんだん少なくなつていきました。

またしても僕は独りです。けれど、どうしてこうなる理由がわからない僕はますます混乱してしまいます。そうして周りが悪いのだと思い始めるのです。

「逃げる」しか選択しなかった僕は、それしか知らない僕は、考えを変えることに気がつきません。

次に選択するコマンドを僕は一生懸命探してたのです。

そして僕はとっくに気付いている答えを導くのです。
希望がなければ絶望もないのだと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2521z/>

逃走コマンド

2011年12月8日23時56分発行